

改良しましょう ロールボックスパレット

3つのポイントを提案します！

ロールボックスパレット（カゴ車）使用時の労働災害を防止するため、ロールボックスパレット自体も、より安全性に配慮したものが望まれています。この度、厚生労働省と労働安全衛生総合研究所では、ロールボックスパレットのメーカーの協力の下、安全性向上のための3つのポイントを盛り込んだ改良モデルを製作し、その詳細を本リーフレットにまとめました。ロールボックスパレットを導入する際には、これら3つのポイントを考慮した製品を選びましょう。



『ロールボックスパレット使用時の労働災害防止マニュアル 安全に作業するための8つのルール』も取り組んでください。こちらのQRコードからダウンロードしてお使いください。



厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署



独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所



一般社団法人 日本パレット協会



取扱い時の危険

その 1 手がぶつかる・はさまれる

ココに注意！



ドアを通過する際に手をぶつけた様子
※外側のパイプ以外に持つところがないので危険！

●手押し台車のような持ち手がないため、四隅のパイプが持ち手になります。●そのため、ドアなどの狭い通路で手が壁にぶついたり、はさまったりしてケガをするおそれがあります。●大きいサイズのロールボックスパレットでは、左右のパイプとパイプの間が長くなるので、両手を肩幅よりも広げて持つことになり、力が入れにくくなります。

改良

1

専用持ち手をつける

縦持ち手
(押し・引き用)



よこ持ち手
(押し・引き用)



縦持ち手
(よこ押し用)



持ち手がじゃまにならない工夫

専用持ち手は右側面だけにあり、左側面に持ち手の差込口が設けられています。この工夫により、これまで通り2台を並べても隙間なく配置できるようにします。



持ち手を本体隙間にスッキリ収納！

ポイント

●手のぶつかり・はさまれを防ぐことができます。右側面の縦・よこ向きの専用持ち手で運搬できます。●持ち手は縦・よこの両方ではなく、いずれかを選んで装備することが可能です。●「どこでも持てる」方法を改め、取扱いルールを明確にすることができます。●側面パネルから持ち手が出っ張っていますので、体にぶつけないように気を付けましょう。



持ち手形状によるメリット・デメリット

	メリット	デメリット
縦	身長差に対応しやすい	幅の調整不可
よこ	幅の調整可	身長差の対応不可

取扱い時の危険

その 2 キャスターの逸走により転倒



ココに注意！



4 輪旋回（自在）タイプを傾いた路面で直進させようとしている様子
※キャスター旋回の影響で逸走してしまい危険！

● 4 輪旋回（自在）キャスターは、小回りが利きやすく重宝されています。● その反面、直進しづらいので、重い荷を積んだ時などは思い通りにコントロールできません。● 僅かな傾きでも車輪が谷側を向くので、コントロールを失い逸走させてしまうと、転倒するおそれがあります。● 転倒しそうになったロールボックスパレットを無理に支えると、作業者が下敷きになるおそれがあり非常に危険です。

改良 2

旋回（自在）・固定の切替機構をつける

ペダルを上げると…



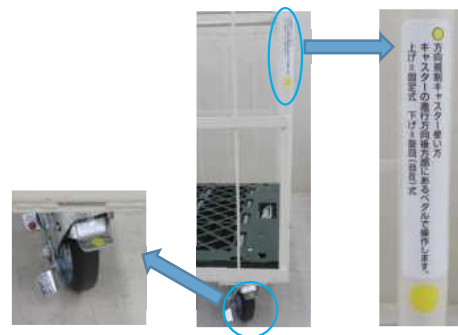
旋回（自在）



固定

切替機構が一目でわかる工夫

切替機構付きキャスター上のパイプにシールを貼ることで、位置と使い方がわかるようになります。ストッパーも同じようにシールを貼れば位置が確認しやすく、安全作業と作業効率アップにつながるでしょう。



ポイント

- 方向規制キャスターと呼ばれる機構によって、旋回（自在）と固定をペダルの上げ・下げで自由に切替えることができます。
- ペダルを上げた後に車輪の向きを固定するために少し動かす必要があります。● 固定を基本とすることで傾いた路面でも十分な直進安定性が得られます。● トラック荷台などの狭い場所でのよこ方向の微調整には旋回（自在）へ切替えるのがよいでしょう。

！ 注意

方向規制キャスターを固定で使う場合、進行方向が 1 方向に限定されます。詳しくは各製品の仕様を確認してください。

取扱い時の危険

その 3 バーが跳ね上がって体にぶつかる

ココに注意！



サイドバーを解除して跳ね上げた様子
※高く上がるとその反動で勢いよく落ちてきて危険！

●サイドバーが外れにくいと跳ね上がりやすいです。●サイドバーが落ちてきて、バーの先端部が顔などにぶつかるおそれがあります。●作業者だけでなく、荷を損傷するおそれがあります。

改 良

3

サイドバー跳ね上がり防止具をつける



ポイント

●跳ね上がっても防止具によって止める構造としました。●既存のサイドバーにも後付けしやすいです。●防止具だけに頼らず、サイドバーの取扱いは手袋着用の上、両手で丁寧に行いましょう。



注意

防止具とサイドバーの隙間に指をはさまれないように注意しましょう。

本リーフレットに掲載した改良モデルは、ロールボックスパレットに関する日本産業規格（JIS Z 0610）の所管団体である日本パレット協会の会員各社からの協力を得て、コンセプトから設計、製作までを円滑に進めることができました。以下に記して謝意を表します。

協力（50 音順）：温海機工株式会社、三栄マテハン株式会社、日本物流機器株式会社、ヤマト・インダストリー株式会社

（R3.7）

ロールボックスパレット

使う前の5つの基本チェックリスト

ロールボックスパレットを使う時は、次のチェックリストで、基本の作業方法を点検しましょう。あなたや周りの人たち、そしてあなたの運ぶ大切な荷物を守るため、**すべての項目にチェックがついた状態になってから、作業を始めましょう。**

作業前点検リスト

確認日

年 月 日

確認担当者名

倒れそうになったら無理に支えず逃げること

人が支えられる重さではありません。とにかく身を守ることが優先です

停止時は必ずキャスターストッパーを使用すること

わずかな傾き、風でもパレットが勝手に走り出すことがあります

原則として、傾いた場所では使用しないこと

わずかな傾きでもパレットが思わぬ方向に動き、転倒するおそれがあります

両手で持って運搬すること

片手で引っ張ると、止める時にパレットをコントロールできず止められないことがあります

作業にふさわしい装備をすること

手足の保護だけでなく、しっかりと操作できる装備が不可欠です

ロールボックスパレット使用時の労働災害防止マニュアル

安全に作業するための

8つのルール



とても便利なロールボックスパレットですが、下働きや手足の負担による事故などが多発しています。

ロールボックスパレットは、カゴ車とも呼ばれる人力運搬車です。開口部以外の3面がバネで覆われているため、荷崩れや荷物の脱落を防止して移動できるだけでなく、店舗では接客機として活用することもできます。このように、物流の効率化や作業員の負担軽減に貢献する、とても便利な存在で、多くの現場で活用されています。

そんな利便性の高いロールボックスパレットですが、近年では労働災害が多発発生しており、その約4割が下働き事故でした。また、ケガをした半数近くの方が作業経験1年未満だったことから、作業に不慣れな現場での対策がカギとなります。

このリーフレットでは、ロールボックスパレットを使うときに、守ってほしい「8つのルール」を紹介しています。ぜひ、お読みになって、安全に作業を行ってください。

厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署



作業者に身につけてほしい望ましい装備例



パンフレット「ロールボックスパレット使用時の労働災害防止マニュアル安全に作業するための8つのルール」もご確認ください。



テールゲートリフターのチェックリストは裏面へ▶

テールゲートリフター

使う前の 5 つの基本チェックリスト

テールゲートリフターを使う時は、次のチェックリストで、基本の作業方法を点検しましょう。あなたや周りの人たち、そしてあなたの運ぶ大切な荷物を守るため、**すべての項目にチェックがついた状態になってから、作業を始めましょう。**

作業前点検リスト

確認日

年 月 日

確認担当者名

昇降板では荷を後退りで運搬しないこと

引っ張ると後ろは見えません。この方法で荷台高さからの転落が頻発しています

キャスター付きの荷を使う時は、必ずストッパーを使用すること

作業者が支えても事故につながる場合があります

原則として、傾いた場所では使用しないこと

ロールボックス/パレットが思わぬ方向に動くことがあります。水平な場所で使用してください

昇降板の位置を目視で確認してから運搬すること

荷台高さにあると思い込んで、転落する可能性があります

作業にふさわしい装備をすること

手足の保護だけでなく、しっかりと操作できる装備が不可欠です

テールゲートリフターを安全に使用するために

2 STEP
ステップ

作業者
必読 //

6 基本 & 11 場面別ルール



！ 重要な災害につながるおそれがある
「被害者や負傷者が倒れる・転落する。事故が多発し

テールグートリフク（TG）使用時の安全要領が注意しなすべし。TG、使用時に次の「安全要領のタイプ1」の安全要領と安全検査が分かれたこと。「作業者が1人になり倒れる・転落する。災害が半分の60%を占めること」が分かったこと。とりわけロールバックリフトのタイプはTGでよく認識されているが、重大な倒れることにより、約70%の被害者が死亡に十分な注意が必要である。また、全体の約20%を占める「昇降機と荷台との間に足などがはさまれる」災害にも注意が必要である。

より詳しくは、エニローボックスリフトと関連する場合のTG、使用時の安全検査要領について2ステップで「基本ルール」と「使用場面別ルール」を参考にすべし。

④ テールゲートリフター起因災害のタイプ

Figure 1: Comparison of the number of people working in the same position in FY2022 and FY23. The figure includes a pie chart showing the distribution of job types and a bar chart showing the percentage increase in each category.

Other (その他)

Job Type	FY2022 (人)	FY23 (人)	Change (%)
Others (その他)	14.5%	14.5%	46%
Others (その他)	20.5%	20.5%	65%
Others (その他)	22.7%	22.7%	72%
Others (その他)	24.6%	24.6%	78%
Others (その他)	17.7%	17.7%	56%

Legend:

- 作業者の配置・転任・引当増減 (Changes in worker deployment, transfer, and allocation)
- 新規採用と退職の差 (Difference between new hires and resignations)
- 熟練者の不足による新規採用 (New hires due to shortage of experienced workers)

65%

厚生労働省・経済労働局・労働力調査事業課
独立行政法人労働政策研究・研修機構 労働安全衛生総合研究所

(P30/4)



作業者に身につけてほしい望ましい装備例



パンフレット「テールゲートリフターを安全に利用するために 2ステップで学ぶ6基本&11場面別ルール」もご確認ください。



ロールボックスパレットのチェックリストは裏面へ▶